

東北医科薬科大学 若林病院 連携だより

事務部長挨拶

事務部長 大森 壮晃



令和2年10月1日付の学内の人事異動で当院に着任いたしました、大森と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私はこれまで、本学が附属病院の経営を始めた後、主に病院の外側からその運営をサポートする仕事（学内の「病院経営管理部」などの部署にて）に関わってまいりました。具体的には、病院の経営譲受、病床・人員等の附属病院間の移動、用地取得を含む施設・設備の整備などです。当若林病院につきましても、旧 NTT 東日本東北病院との事業譲受交渉の段階から今日に至るまで、その変遷に関与してきたこととなります。そのような経緯を考えると、私が当院で働くのは自然の成行きなのかもしれませんが、

事務部長として内側から病院の運営に当たるのは初めての経験であり、「見るとやるのは大違い」を日々実感している今日この頃です。

本学の附属病院は昨年8月に名取守病院を閉院し、福室の本院と当院の2病院体制となりました。同時に名取守病院の病床を両院に移動しており、当院は127床に増床しております。（一昨年4月、111床に減床し、皆様には大変なご不便をおかけいたしております。申し訳ありません。昨年9月には16床ですが急性期病床を増やしております。）本院の600床と合わせ、2病院727床の体制が固まり、器が定まったことで、今後はそれぞれの病院の診療機能をさらに向上させるとともに両院の連携強化に努め、一体となって地域の医療に貢献していきたいと考えております。

当院の4階、私共の事務室から見る街の様子は、若林病院になってからの5年でかなり変わったと思います。一方、コロナ禍の影響も相まって医療機関を取巻く環境は、窓外の景色とは比較にならない速さで変化しております。その中でも「心のこもった良質な医療の提供に努める」という当院の理念は不動のものであり、これからも変わらず地域に密着した病院づくりに努めていきたいと存じております。

皆様には今後も引き続きまして、ご指導、ご鞭撻そしてお引立てを賜りますようお願い申し上げます、着任のあいさつとさせていただきます。



病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった
温かい良質な医療の提供に努めます。

～ 目 次 ～

- 事務部長挨拶……………P.1
- 感染症対策における栄養管理の重要性……………P.2
- 来院者様に検温・問診・手指消毒をお願いしております…P.3
院内連携リレー 患者総合支援センター
- 患者総合支援センターよりお知らせ・Topics…P.4

感染症対策における栄養管理の重要性

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の蔓延により、不安な日々をお過ごしのことと思います。現時点で、特異的な治療薬やワクチンの開発・接種には至っていない中、治療や予防においては自身の免疫機能に大きく依存せざるを得ないのが現状です。COVID-19は、高齢者や複数の疾病を有する症例の死亡率が高いと指摘されており、背景として低栄養や骨格筋の減少・機能低下（サルコペニア）の存在が考えられています。低栄養やサルコペニアでは免疫機能が低下することが懸念されており、感染予防・重症化予防のためには適切な栄養管理を行うことが重要と言えます。

～免疫機能を低下させない食事管理～

▶十分なエネルギーやたんぱく質の摂取

高齢者では、嗜好の変化や活動量の低下等の影響から十分な食事摂取ができないケースが見受けられます。そのような場合は、経口的栄養補助（oral nutrition supplements：ONS）として、食事にプラスして100～200kcalほどの補食を摂るようにします。例えばヨーグルトやチーズ、ビスケットなどの食品、あるいは栄養補助食品を活用するのも良いでしょう。

▶微量栄養素の適正摂取

ビタミン、微量元素も免疫機能の維持に不可欠です。特に亜鉛やビタミンC、ビタミンAなどは免疫機能と密接な関連があると言われています。最近では、ビタミンD値が高い国ほどCOVID-19の罹患率、死亡率が低いという報告もあります。これらの栄養を強化することで免疫機能を特別に増強できるわけではなく、正常に機能できるよう日頃から野菜や果物、きのこ類の摂取を心がけることが大切です。これらの摂取が十分にできない場合はサプリメントを活用するのも一つの方法です。

▶腸内環境を整えるプロバイオティクス

腸管には多くの免疫機能が集中しており、ビフィズス菌や乳酸菌などのプロバイオティクスの摂取により、腸内環境を正常化・改善させ、腸管における免疫機能を活性化させることができます。近年では多くの商品が出回っていますが、砂糖を多く含むものも多いため、糖分が気になる方はカロリーオフタイプのものを選ぶと良いでしょう。

参考：「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の治療と予防に関する栄養学的提言」学会誌 JSPEN
（文責：管理栄養士 石上）



栄養管理部より
当院の行事食を
ご紹介します



管理栄養士や調理師
の方々の手作りメッ
セージカード付で、
患者さんからも好評
です

☆節分☆

来院者様に検温・問診・手指消毒をお願いしております ～顔認証温度検知システムを導入しました～

新型コロナウイルス感染症の感染対策として、正面玄関にて来院時の検温・問診・手指消毒にご協力いただいております。この度、顔認証温度検知システムを設置し、当院受付時間内において、職員がシステム横にて問診を行っております。ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。



新企画

★院内連携リレー★ 患者総合支援センター

当院の部署紹介をリレー形式でご紹介していきます！初回は患者総合支援センターです！

医療機関の先生方・職員の皆様、関係機関の皆様には、当院の病病・病診・病福連携に多大なるご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

患者総合支援センターは、「医療連携・相談室」「入退院支援室」の多職種のチームで構成されております。当センター全体では、主に患者さんの受入れの窓口を担っているほか、「連携の会」の企画・運営なども行っております。各部署の主な業務をご紹介します。

【医療連携室】事務職員 2名

- ・前方連携（外来受診）
- ・紹介患者様統計管理
- ・診療報告書等文書管理
- ・連携イベントの企画・運営
- ・広報活動（連携だより・広報紙制作等）

【医療相談室】看護師 1名、MSW 2名

- ・前方連携（転院）
- ・退院支援
- ・社会保障制度・医療費に関する相談窓口
- ・在宅ケアカンファレンス等企画・運営

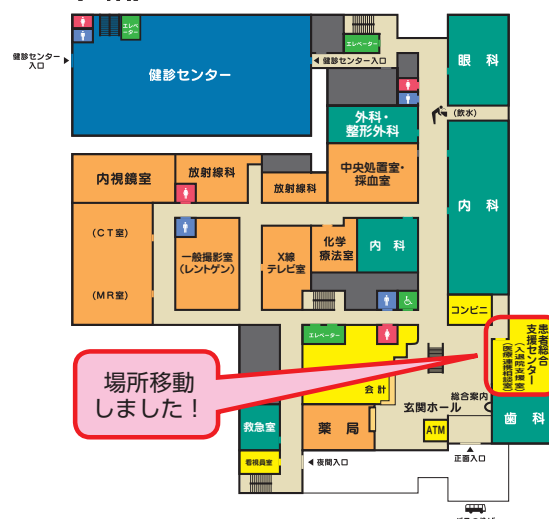
【入退院支援室】看護師 1名

- ・ベッドコントロール業務
- ・予約入院時の説明

各職種の強みと力を合わせ“one team”精神で、センター全員一丸となり業務に取り組んでおります。患者さんが『安心して受診できる』『安心して地域で暮らす』ことができるように「切れ目のない支援・地域連携」を目指します。

「顔の見える連携」を大事にし（コロナ禍でなかなか難しい現状となってしまいましたが…）、円滑な地域医療連携ができるよう尽力してまいります。地域連携に関しましてご意見・ご要望等がございましたら、遠慮なく患者総合支援センターまでご連絡いただけますと幸甚に存じます。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

＜1階＞



※写真撮影時のみマスクを外しております

患者総合支援センターよりお知らせ

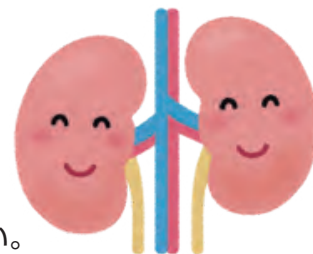
✓ 腎臓内科土曜日外来やってます（月1回・完全予約制）

当院腎臓内科では透析導入患者撲滅に向けて積極的に取り組んでおります。

慢性腎臓病（CKD）医療は早期、若年時からの医療介入が肝要です。自覚症状がない若年の患者様に腎臓内科の門を叩いていただくための取り組みとして、昨年3月から土曜日の腎臓内科外来をスタートしております。

対象者

- ▶ 腎機能低下、尿所見異常を指摘された方
- ▶ 65歳以下で、平日はお仕事などでどうしても受診が難しい方



受診方法

※ **完全予約制**となります。

診察日やご予約方法等お気軽に医療連携室までお問合せください。

患者総合支援センター・医療連携室 ☎022-236-5899

Topics



中高生より感謝のメッセージが届きました

「新型コロナウイルス感染症流行の中、自分たちの命と健康を守るために働いている医療従事者に感謝の気持ちと励ましのメッセージを伝えたい」と、仙台育英高等学校3年Aさん、末日聖徒イエス・キリスト教会日本仙台ステークK様が来院され、メッセージカードを贈呈いただきました。早速病院内全部署にて共有いたしました。日々張りつめた雰囲気が、ほっこりいたしました。素敵なメッセージカードありがとうございました。



連携充実加算研修会を行いました

2020年度診療報酬改定にて外来がん化学療法の連携充実加算が新設されたことに伴い、当院研修室において、連携充実加算研修会を開催いたしました。

講演

「ホームページ公開の
がん化学療法レジメンについて」

演者：宮内薬剤師長

感染拡大予防のため、参加人数を限定、体温測定・体調チェックの実施、座席の間隔を確保しながらの開催となりました。

当院で運用している化学療法レジメン（胃がん・乳がん・大腸がん）および化学療法用トレーシングレポートは当院ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

若林病院 薬剤部

検索



東北医科薬科大学 若林病院
患者総合支援センター

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920